

除害施設について

事業場から排出される下水には、下水道施設を損傷したり機能を妨げたりする場合があります。  
そのため**排水基準**を超える下水は、事業場自ら処理する必要があります。  
この排水施設を除害施設といいます。

阪南市下水道排除基準								
			公共下水道への排除が禁止されている基準(直罰基準)					
			除害施設の設置義務が課せられる基準(除害施設設置基準)					
対象物質又は項目		対象者	単位	終末処理場に接続されている公共下水道の利用者			特定施設の設置者を含む全利用者	法第11条の2第1項の規定により使用の開始等の届出が必要な下水の水質
				特定施設の設置者				
				50m <sup>3</sup> /日以上	30m <sup>3</sup> /日以上	30m <sup>3</sup> /日未満		
カドミウム及びその化合物	Cd	mg/L	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
シアン化合物	CN	mg/L	1	1	1	1	1	
有機リン化合物	Org-P	mg/L	1	1	1	1	1	
鉛及びその化合物	Pb	mg/L	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
六価クロム化合物	C <sup>r6+</sup>	mg/L	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
砒素及びその化合物	As	mg/L	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	T-Hg	mg/L	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	
アルキル水銀化合物	R-Hg	mg/L	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと	
ポリ塩化ビフェニル	PCB	mg/L	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	
トリクロロエチレン	TCE	mg/L	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	
テトラクロロエチレン	PCE	mg/L	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
ジクロロエタン	DCM	mg/L	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
四塩化炭素	TCM	mg/L	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
1,1-ジクロロエチレン	DCE	mg/L	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
シス-1,2-ジクロロエチレン	シス-DCE	mg/L	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	
1,1,1-トリクロロエタン	MC	mg/L	3	3	3	3	3	
1,1,2-トリクロロエタン	TCA	mg/L	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	
1,3-ジクロロプロペン	DCP	mg/L	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
チウラム	チウラム	mg/L	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	
シマジン	シマジン	mg/L	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	
チオベンカルブ	チオベン	mg/L	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
ベンゼン	BZ	mg/L	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
セレン及びその化合物	Se	mg/L	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
ダイオキシン類	Pg-TEQ/L		10	10	10	10	10	
ほう素及びその化合物	B	mg/L	10	10	10	10	10	
ふっ素及びその化合物	F	mg/L	8	8	8	8	8	
クロム及びその化合物	Cr	mg/L	2	2	—	2	2	
銅及びその化合物	Cu	mg/L	3	3	—	3	3	
亜鉛及びその化合物	Zn	mg/L	2	2	—	2	2	
フェノール類	Phe	mg/L	5	5	—	5	5	
鉄及びその化合物(溶解性)	S-Fe	mg/L	10	10	—	10	10	
マンガン及びその化合物(溶解性)	S-Mn	mg/L	10	10	—	10	10	
アンモニア性窒素、亜硝酸窒素及び硝酸性窒素 NH4-N、NO2-N、NO3-N		mg/L	—	—	—	—	380	
生物化学的酸素要求量	BOD	mg/L	600(300)	—	—	600(300)	300	
浮遊物質	SS	mg/L	600(300)	—	—	600(300)	300	
ノルマルヘキサン抽出物	鉱物油	mg/L	5	—	—	5	4	3
質含有量(n-Hex)	動植物油	mg/L	30	—	—	30	20	10
水素イオン濃度	pH	水素指数	5以下、9以上 (5.7以下、8.7以上)	—	—	5以下、9以上 (5.7以下、8.7以上)	5.7以下、8.7以上	
温度		℃	—	—	—	45(40)	40	
沃素消費量	I <sub>2</sub> -C	mg/L	—	—	—	220	220	
色又は臭気			—	—	—	—	放流先で支障がないこと	
全窒素	T-N	mg/L	—	—	—	—	150	
全リン	T-P	mg/L	—	—	—	—	20	

備考

- 1.この表に掲げる水質を超える(BOD、SS、温度、沃素消費量は表に掲げる水質以上の、pHは表に掲げる水質の上限以上又は下限以下の)下水の排除が禁止され、又は排除する場合、除害施設の設置若しくは届出が必要となる。
- 2.法第11条の2第1項の規定により使用の開始等の届出が必要な下水の量は、日最大50m<sup>3</sup>以上である。
- 3.BOD、SS、T-N、T-Pの( )内の数値は、製造業又はガス製造業について適用される。
- 4.ダイオキシンの直罰基準は、ダイオキシン特別措置法に定める特定施設のみ適用される。
- 5.除害施設設置基準のノルマルヘキサン抽出物質は、府条例により、排水量別に排水基準が設定されている。